

「武庫川総合治水の推進」説明会 尼崎市会場での主な当日発言

	発 言 内 容
1	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通公園辺りの河川工事を見ていると、河川がかなり深く掘られている。数年前ヌートリアを確認していたが、河川工事が始まって、いなくなった。動物は、草むらに生息しているが、現在は、芝生のような状況になっている。昔のように、魚釣りができるような状況ではない。治水対策を考える場合は、生態系を保全しながらやっていただきたい。
2	<ul style="list-style-type: none"> ● 数年に1回、大雨で、水田や畑が冠水することがある。堰板の操作について、ずっと横に付いている訳にはいかない。一度浸水すると、水が引くのに時間が掛かる。2度と使えないこともある。 ● 学校・公園・農地の対策は、いかななものかと思う。学校では、通学できなくなることも考えられる。 ● 水田の場合は、泥が入ると全滅する。 ● 公園の場合は、避難場所に指定されていることもある。 ● 本来の利用と治水利用のバランスの問題になるが、この計画（流域対策）の具体化は大変だと考える。
3	<ul style="list-style-type: none"> ● 本日の説明は、分厚い武庫川に関する百科事典を見せられたようだ。 ● 武庫川について、異変を感じたら、いつでも異変を連絡できる窓口があれば良いと思う。ものすごいゴミが流れて来ることがある。 ● 住民は、実際には大変関心があるはずなので、県には引き続きお願いしたい。 ● 個人的には、これからも、色んな形で関わっていきたい。
4	<ul style="list-style-type: none"> ● 委員会は総合治水対策について検討されているが、県の今後の取り組みの中では、課題が列挙されている。 ● 県ではなく委員会の委員が提言内容を説明すれば、委員からの回答をその場で聴くことができる。委員会として、是非、説明会を開催して欲しい。 ● 先ほどの説明では、三田は1/30、下流は1/8で、下流の整備が遅れている。逆ではないかと思う。
5	<ul style="list-style-type: none"> ● 上流の森林開発が大きく影響している。上流部の開発規制、森林保全等、提言については賛成する。 ● 新規ダムについても、それ以外の方法で対応するべきだという提言に賛同する。 ● 「武庫川博物館」や「河川防災ステーション」が提案されているが、県の財政は厳しい状況であり、新規で造るなら、本末転倒である。それなら、少しでも治水対策にお金を投入すべきであり、優先順位は低いものとする。 ● 堤防強化の話が気になった。優先すべき対策とは、堤防が破堤しない対策である。
6	<ul style="list-style-type: none"> ● 地元説明会における住民意見を、十分活用・反映するのなら、公表・公開して欲しい。それが、参画と協働の精神である。 ● この地元説明会については、「行政は無責任」と考えている。

「武庫川総合治水の推進」説明会 尼崎市会場での主な当日発言

	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在 1/18 (3,449 トン) が提言されているが、1/30 でやってきたというなら、1/30 の流量を明確に出すことが必要である。 ● 総合治水対策について、行政として、しっかりと調査して、明確にして、説明会を行うべきである。こんな状態で意見を出せる訳がない。 ● 専門家の行政が検討する前に、住民から意見を聴くというのは、無責任な地元説明会である。 ● 高い流量の治水安全度が必要という意見があったが、尼崎市での一番の問題は、内水問題と理解することが正しい。内水の処理は、1/6 の計画であり、したがって、武庫川においては、1/18 は、差しあたりこれで良いと判断できる。
7	<ul style="list-style-type: none"> ● 1/18 は、小さいと思う。1/30 の河川が多い。雨が降って、他の河川は大丈夫なのに、武庫川だけ被災するというのはおかしい。1/30 を死守して欲しい。 ● 提案があったが、既存ダムの有効活用だけでなく、再開発、嵩上げ等の検討もお願いしたい。
8	<ul style="list-style-type: none"> ● 広報について、住民の参加者の人数が少ない。 ● 山の開発が進み、森林が減少して、雨が川に流れ込むようになっている。
9	<ul style="list-style-type: none"> ● この地域では、これまで大きな水害がなく（内水程度）、比較的安全と考えている。目標が必要なことは分かるが、3,449 トンという数字について、雨の降り方が全く予想がつかない。 ● この地域は、武庫川流域と猪名川流域の両方で決壊する可能性がある。この数字（3,449）は、少し大きい概ね妥当と思う。 ● 新規ダムの効果について説明があったが、新規ダムは不要である、景勝地を潰して欲しくない。 ● 平成 16 年の台風で、リバーサイド住宅が浸かったが、川底に家を建てて浸かった、しょうがない。 ● リバーサイドが浸かったから、下流が助かったということも考えられる。 ● 武庫川の歴史を考えると、川幅が狭くなった歴史、流下能力が減少している。 ● まちづくりの中で、川をどう考えていくのかが大切。堤防が丈夫になったら、そこに家を建てるといった状況が進んでいく。まちを守ることが大切。 ● 30 年かかってやるというが、1/18 なので、せめて 15 年でやって欲しい。 ● 破堤するとどうしようもない、破堤しないことを第一に置いて、減災を目指すことが大切である。 ● この数字（3,449）が、論理的に証明できる数字なら納得するが、感覚的に判断するしかない。リスクと比較して考えると納得できる数字である。大きいという感覚である。
10	<ul style="list-style-type: none"> ● この地域は、猪名川と藻川に挟まれている。23 号台風では、危険水位を超えた。一庫ダムが無ければ堤防を越えていた。ダムが必要であれば考えるべきである。必要性をまざまざと見た。 ● 水害避難訓練を行い、1,300 人が参加したが、最近では警備が厳重で鍵が掛かっており、避難場所の小学校の中に入れなかった。

「武庫川総合治水の推進」説明会 尼崎市会場での主な当日発言

	<ul style="list-style-type: none"> ● 23号台風等では、お年寄りが亡くなっている。これからも、町会として考えていくことが必要。 ● ダムが絶対駄目ということはない。 ● この地域では、水が入ると抜けない、堤防に囲まれている。
1 1	<ul style="list-style-type: none"> ● ダムによって下流域を守れるとは思えない。ここでは、内水の問題が大きく、内水対策が重要である。島之内の場合、8月に浸水があった。落雷によってポンプが止まったことが原因だが、そもそも計画では、30mm程度の雨でも浸水する。内水対策を急ぐべきである。 ● 堤防強化は、パンフレットに入っていない。23号台風では、護岸が壊れる等、堤防の強度に問題があると思う。 ● 新規ダムは、流れを阻害しないということだが、問題は排水口の大きさ。小さいと詰まる、大きいと小洪水を防げない。
1 2	<ul style="list-style-type: none"> ● 新規ダムより、やることがある。 ● 8月に浸水したが、雨が降っても水が浸透するところが無い。都市化されており、緑化や、ため池・公園を増やす、といったことを先ずやるべき。 ● 山に植林すること等も、費用はダムより安いはず。
1 3	<ul style="list-style-type: none"> ● 私は、氾濫区域に住んでいる。今の説明はよく理解できた。100年に一回の大雨が河川敷で保つのかは理解できた。 ● 大庄付近については、戦前、ジェーン台風、第二室戸台風の時に堤防決壊の被害が甚大であり、同時に高潮が起こっている。 ● 大庄西町2丁目、阪神電車の駅の北側、元浜地区の3箇所で切れている。武庫川の洪水では、堤防を超える場合と決壊する場合の2つある。 ● 武庫川の堤防は、土砂を積み重ねて、補強されてコンクリートののり面で固めたもので、今後の補強も必要に応じて必要であろう。 ● 阪神淡路大震災の時、阪神武庫川駅から土手北約600mのところまで深さ5mの陥没がおきて、道路の補修で埋め戻しただけで、治水効果が落ちている。地耐力が相当落ちている。 ● 今後の南海地震の津波は、高潮対策の防潮堤があるので、OKであるが、2～5m、あるいは10mの津波は、武庫川の川を走るのだから、それが大きく水位を上げてくる。 ● 今の堤防が強度的に持つのか、補強をどうするのか、進める必要がある。 ● 武庫川の掘削は、安心している。武庫川の掘削は、武庫川が扇状地で三角州の特性から洪水の危険があるので必要で、震災以後も地元で対応してきた。ただし、現在の強度や今後の対応が不十分であれば、地元としても問題で、今後、県や市への怒りへとつながる。県と市は、過去の歴史を踏まえて、堤防のオーバーフローと決壊対策をきちんとして欲しい。 ● 宝塚の住宅開発が進み、武庫川に生活排水が流れ、水質が悪化した。

「武庫川総合治水の推進」説明会 尼崎市会場での主な当日発言

	<ul style="list-style-type: none"> 阪神電車の北 500～600m のあたりには、相当深い亀裂があった。以前から鉄砲水がでるところであった。伊勢湾、H16、そのほか10年前にも、河川敷のトップから1mの時にも水があふれていた。震災後、底に亀裂が2～3mあった。 渇水時に水道の蛇口を絞っての渇水対策が何回も起きている。貯水槽（タンク）として、遊水地を地下につくるのはどうか。渇水と洪水をうまく利用しては。地震を契機に、地下タンクとして1m³、マンションでも10m³を民間や個人、神社も井戸を掘っている。県や市で渇水と洪水のものを一緒にできないのかと思う。 武庫川の下に、同じ規模の川を掘ってはどうかと思う。
14	<ul style="list-style-type: none"> 堤防の構造について。今から、65年前に山津波がきて2号線に岩が転がった。武庫川の水がきた。避難命令が出た。避難はせずにすんだが、図で書いてきたが、堤内側に10～15mの丸太を堤防に打ち込んだ、今有ればよいが、それが腐っていないか心配だ。
15	<ul style="list-style-type: none"> 100年の計画で、新しいダムがすべて解決できるようですが、かつて、高知市内の鏡川で1,000何mmという雨が降った。ダムの管理者は、降雨の予測が難しいので水位を下げていなかったが、堰堤からあふれた。大量の水を放水した。河川の堤防上1mまで水が来て、高知市長から各自へ自己責任で高台へ避難命令がでたことがあった。 上流の三田で桁外れの雨が降り、ダムの容量を超えたら大変なことになる。ダムですべてが免れられるとの考えは、過信となる。 河川敷まで水が来ると、水が引いても土砂がたまっているのを実感できる。すぐに土砂をとるのを頻繁にやって欲しい。
16	<ul style="list-style-type: none"> 整備計画は、H22年策定。1/18の話であるが、尼崎1/8をどう考えるのか。もっと早くやってもらわないと困る。
17	<ul style="list-style-type: none"> 学校単位の開催の予定が、大庄では2回は少ない。他の例では回覧を数回しているのでもういった努力をして欲しい。
18	<ul style="list-style-type: none"> NHKでも放送していたが、武庫川の生物が、工事によって住めなくなる、工事で川の蛇行がなくなり棲めなくなるのではないかと思う。 川を、ブロックで固めると、魚が棲めなくなることがある。
19	<ul style="list-style-type: none"> 以前は環境にはほとんど配慮されなかったが、今は配慮されるようになってきた。 大滝ダム等問題があるものもある。武庫川峡谷は、すばらしいところ。新規ダムありきではなく、既存施設でやっていくことが大切である。 釧路川の例や、神戸空港の例など、やってきたことが、もったいないことが多い。無駄なことはして欲しくない。 生物にも配慮して欲しい。 防潮堤ができてから、浸からなくなった。 治水が大事なのは分かるが、環境にも配慮をお願いする。

「武庫川総合治水の推進」説明会 尼崎市会場での主な当日発言

20	<ul style="list-style-type: none"> ● 水害は、よく人災と言われることもあるが、三田市や宝塚市等でこれまでに開発が進んできたが、新規ダムより、総合治水対策でため池等を、より考えていく方向でお願いしたい。 ● 既存施設の有効活用を中心に、よろしくをお願いします。 ● 新規ダムは、穴あきダムで、それが本当に安全なのか疑問に思う。
21	<ul style="list-style-type: none"> ● 淀川水系では、大放水路を造っているようだが、武庫川ではどうか。世界的にダムを造らない方向にいつている。 ● 地球温暖化が進み、正確に予測することが難しくなっている。 ● ため池については減少、学校や公園については本来の使用目的が損なわれる、公共の遊休地活用も考えられるが、高齢化が進む中、誰が維持管理をするのか、そういった社会的要因を加味すると、どの対策も難しいと考えられる。
22	<ul style="list-style-type: none"> ● 流域委員会では良く議論された、良い取り組みをされた。ダム反対の人も入れて議論され、全国的にも例がないこと、県としても良い取り組みをされた。 ● 武庫川渓谷の環境問題。ダムを造ると山が死ぬ、ダム無しで身を守る方法はないのかと思う。 ● 潮止堰を撤去すると、水の流れが良くなる。今は、水を使っていないため不要である。床止工も撤去すると、水の流れが良くなる。 ● 23号台風では、淡路島で、ダムが幾つもあるのに被害が起きた。ダムの下流で雨が降れば、ダムは意味が無い。局部的豪雨が頻発する傾向にあり、ダムを想定しないで堤防を管理する、川底を掘る、床止工を撤去する等、総合治水対策を考えることが必要である。ダムは万全ではない、ダムは止めるべきである。 ● 河川の改修は必要で、下流に住む者にとっては、安心につながる。
23	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校や公園に水を貯めることについて、現実的に、技術的に、公園については可能かもしれないが、学校は難しい、無理ではないかと思う。 ● 川幅をもう少し広くできないかと思う。 ● 一番気に掛かっていることは、委員会メンバーの構成である。尼崎市は1人しかいない。面積も大きく、延長も長いにかかわらず、不思議に思っていた。公募の方法が気に掛かっていた、尼崎市は特に少ない。 ● 学校、公園は、新設では良いが、既存施設は難しいのではないか。 ● 遊歩道やテニスコートに使われている部分を拡げてはどうか。 ● この辺りも、水に浸かる。 ● 委員会でも、この地元説明会でも、話が難しい。 ● 流域委員会では、意見を述べることはできるが、質疑応答がなかったので、こういった地元説明会は有難い。 ● 委員会の資料は難しい。住民に分かるような説明が欲しい。
24	<ul style="list-style-type: none"> ● 昔は、田んぼや畑が沢山あったが、田んぼが無くなり、住宅地が変わっているため、遊水池ができない。 ● 尼崎市には、遊水池になるような公園はない。

「武庫川総合治水の推進」説明会 尼崎市会場での主な当日発言

	<ul style="list-style-type: none"> ● 尼崎市は、0m 地帯だが、避難の関係について小学校が減っており、場所によっては、庄下川を越えて避難することが必要である。老人にとって避難場所が遠いと移動は厳しく、そういったことを考慮していただききたい。 ● 武庫川は、天井川だが、砂防ダムがあっても、川に砂が流れてくる。阪急武庫川線辺りでは、大分堆積している。 ● 尼崎市や西宮市では、伏流水が流れている。 ● 武庫川の取水堰からは、上水・農業用水・工業用水の取水があった。 ● 雨水については、下水道が整備されたが、尼崎市の場合は、合流式である。 ● 遊水地を造ると、大きな池になる。昔は田んぼがあって、遊水地の代わりになった。 ● ダムには、多少犠牲がでますよね。
25	<ul style="list-style-type: none"> ● 阪神武庫川駅のところの潮止堰について、工業用水取水のために潮を止める目的であったが、今は工業用水はほとんど取水していない。 ● 塩水が遡上して、武庫川の水が流れ難くなっているのではないか。それを解決すれば、20年～30年は、武庫川は大丈夫ではないかと思う。 ● 尼崎市は0m地帯で、潮止堰のことより防潮堤の方が心配である。既に50年以上経過している。矢板を打って基礎をつくったが、その後地盤沈下が進み、とりあえず保ってはいるが、アメリカのハリケーン等が来たら、基礎が保つのか心配である。
26	<ul style="list-style-type: none"> ● 委員会では、100年に1度、30年に1度というのは、非常に曖昧な表現であるため、川の話をする時には、流量で表現するという事になった。できるだけ流量で説明願いたい。 ● 新規ダムは、基本的に不要と考えている。 ● 委員会では、総合治水対策を徹底的に進めることが必要であり、整備計画では新規ダムを位置付けない、と提言されている。しかし、パンフレットには、ダムが絵に入っている、いかにもダムが対策の1つに入っているように見える。何故パンフレットに入っているのか、私には理解できない、このパンフレットは誤解を生じる。 ● 堤防補強の問題について。淡路の三原川では、ダムがあっても被害が出た。大庄地区は、尼崎市では、最も下流に位置する地区であり、堤防補強を急ぐべきである。 ● 潮止堰の問題。尼崎市では、基本的に、井戸水を使っていないため、井戸水に塩水が入っても困る人は少ない。立花の説明会では、困る人がいるという説明だったが、新規ダムよりも、潮止堰と床止工の撤去が必要である。他の説明会では、「潮止堰の撤去は、基本方針レベル。」と回答されたようだが、提言書概要版の34頁には、「潮止堰そのものが問題」と記述されている。回答の内容と提言書の内容が違っている、正確に説明すべきである。 ● 提言とは違った説明をされているため、委員の同席を求めるべき。

「武庫川総合治水の推進」説明会 尼崎市会場での主な当日発言

	<ul style="list-style-type: none"> 23号台風の時に、「阪神電車付近は、もう少しで溢れるところであった。」との説明があったが、そこまでは水位が上がっていなかった。また、「流下能力はもっと高いのではないか。」という意見がある。
27	<ul style="list-style-type: none"> 潮止堰を今日の昼見てきた。満潮時には、潮が越えている。役に立たない。砂がどんどん溜まってくる。 可動堰、潮止堰に砂がたまる。掘ってくれているが、いつも深く掘っておいて欲しい。阪神電車のところが削られる。
28	<ul style="list-style-type: none"> 潮止堰は昔は効果があったかもしれないが、今は溢れる原因になっている。海の水が川へ入っている。不要なら、撤去すれば良い。そうすれば土砂も貯まらない。 阪神電車の南側の土手が崩れている。そういう点を検討していくべきで、土手を直すべきである。 新規ダムのお話を話すのは、まだまだ。ダムを造る必要はない。徳島でも、大歩危、小歩危では水がきれいだが、ダムのところは水が汚い。濁っている。動植物が死んでいる。 委員会で決めたこと、審議されたことについて今日の説明では全然出てこない。私は委員会の書類を全て、1~20まで貰っている。説明会の資料を見ただけでは、判断できない。
29	<ul style="list-style-type: none"> 潮止堰については、とても感謝している。大雨の時に、有効に働いて、潮止堰の効力を、まざまざと見せつけられている。 私は井戸を使っている。周辺は井戸を使っている人が多い。潮止堰を撤去することで1kmも潮が上がると井戸は全滅する。 昔はホタルがいたということは真水だったということ。ホタルが復活すれば良いという想いを持っている。潮止堰を撤去して塩水が上がれば、蛍は戻って来ない。 昔、固定堰の時は、夏場は武庫川が枯れ、生物は全て死んだ。可動堰のお陰で、夏も枯れなくなった。可動堰のお陰と思っている。 阪神武庫川駅のところで、補助スーパー堤防が提言されていたが、50mは、どの辺りまで考えているのか。地域はどうなるのか、すごく心配である。